

令和2年度スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞
第2回適合性審査委員会議事録

日 時：令和3年3月1日（月）13時～15時30分

場 所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 12階 日本スポーツ協会「大会議室」

出席者：【委員】 菊地裕太郎、小林久美、松尾哲矢、松永敬子、森岡裕策、靱井圭子、
山田登志夫（敬称略）

議案1：令和2年度適合性審査（その1）について

審査に入る前に、審査方法について菊地委員長から説明。予備調査チーム調査員の代表者から予備調査結果の概要について説明を行い（予備調査員は随時 Microsoft Teams で参加）、委員からの質疑を経て、総合評価を決定することとした。

1. 日本サッカー協会

総合評価：適合

【好事例】 審査項目 1

競技力向上、マーケティング及びガバナンスについて、目標の達成状況などの現状の分析が丁寧に行われ、それをふまえた中長期計画がテーマごとに整理されていることに加え、現状に即した中間見直しと計画更新の機会を予め設定している。

【好事例】 審査項目 20

コンプライアンス委員会において、充実した議論が行われていることが伺われ、理事会への報告、定期的な助言・提言の仕組が整備されている。

【好事例】 審査項目 22

詳細な計画に基づいたコンプライアンス教育を実施し、e-ラーニングやグループディスカッションを取り入れるなど工夫がされていることに加え、「JFA コンプライアンス・ハンドブック」など独自のコンテンツを作成して、充実した取り組みを行っている。

【好事例】 審査項目 42

中期計画において地方組織の収益獲得・業務効率化といった多面的な支援を展開することを定めるとともに、事務局内に地方組織に対する指導・助言を行う部署を設け、上記計画に基づいて補助金制度を含む具体的な施策を実行している。

【好事例】 審査項目 43

地方組織に対して研修・会議等を通じて組織経営やガバナンス・コンプライアンスをテーマに充実した情報提供を行っている。また、各地方組織が現在位置を把握するこ

とを目的に「都道府県チャート」を作成し地方組織の意識向上を促している。

2. 全日本柔道連盟

総合評価：決定を留保

予備調査終了時点から審査委員会開催日までの間に、全日本柔道連盟へ事実確認を行う必要がある事案が生じたため、本日の審査は留保とし、次回審査委員会にて審査を行うこととした。

3. 日本綱引連盟

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

4. 日本テニス協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

5. 日本ライフル射撃協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

6. 日本グランド・ゴルフ協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

7. 日本自転車競技連盟

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

8. 全日本テコンドー協会

総合評価：決定を留保

要改善事項、好事例ともに無し。

審査項目 10 について、役員候補者選考委員会が独立した諮問機関であるという自己説明が不足しているため、説明の追記を全日本テコンドー協会へ依頼する。

9. ワールドスケートジャパン

総合評価：適合

【要改善事項】 審査項目 29

選手選考基準を含む選手選考に関する規程を策定し、その情報を開示していないという状況は、近い将来、当該団体の組織運営に支障をきたしかねないと判断し、要改善事項として指摘する。したがって、2022年3月末日までの改善が望まれる。

【要改善事項】 審査項目 35 及び 36

懲罰制度における禁止行為、処分対象者、処分の内容及び処分に至るまでの手続を定めていないという状況は、近い将来、当該団体の組織運営に支障をきたしかねないと判断し、要改善事項として指摘する。したがって、2022年3月末日までの改善が望まれる。

10. 日本トライアスロン連合

総合評価：適合

【好事例】 審査項目 1

当該団体の中長期計画は、高齢者を含む幅広い層を対象としたものとなっている点が好事例である。

11. 日本ボクシング連盟

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

12. 日本水泳連盟

総合評価：適合

【好事例】 審査項目 1 及び 2

充実した内容の中期計画が策定されており、その策定に際しては幅広く意見を募る等、手続的な配慮も適切になされている。また、単に策定して終わるのではなく、年度ごとに進捗報告を作成してウェブサイトで公表するなど、中期計画が形骸化しないよう、具体的な防止策がとられている。

なお、職員の数も多くない団体であることも踏まえれば、限られたリソースでも充実した対応が可能であることを示す例としても、好事例といえる。他の審査項目においても同様。

【好事例】 審査項目 6

当該団体が所管する競技は6種目に分かれているところ、すべての種目からアスリート委員会の委員が選定されており、多種目で構成される競技に係る統括団体の特性が考慮されていることが伺えるし、性別のバランスにも配慮がなされている(男性7名・女性8名)。また、アスリート委員会の委員長が理事としても選任されており、当該

理事を通じて、アスリート委員会の意見が理事会に反映される仕組みとなっている。

【好事例】 審査項目 42 及び 43

地方組織の法人化推進のために、法人化が完了した加盟団体に対し（登記手続き等の費用補填として）、一律 100 万円の助成金を交付している。

1 3. 全日本剣道連盟

総合評価：適合

【好事例】 審査項目 23

カテゴリーごとに分けた上で、様々な競技レベルを対象に研修を行っており、回数としても、数多くの研修機会を設けている。

【好事例】 審査項目 24

カテゴリーごとに分けた上で、様々な競技レベルを対象に研修を行っており、回数としても、数多くの研修機会を設けている。

1 4. 日本フェンシング協会

総合評価：適合

【好事例】 審査項目 6

アスリート委員会の委員は、種目別、ジェンダーバランスを考慮して選出されている。理事候補者の選出を通じて、アスリート委員会の意見が理事会へ適切に反映されるような仕組みがとられている。

令和 3年 5月 7日

議事録署名；

菊地 裕太郎

